

# あをによしリハビリクリニック 脳神経外科

秋田県秋田市土崎港相染町字沼端 77-33  
URL : <https://awoniyoshi.com>

脳卒中の発症予防と再発予防を目的とした高血圧・糖尿病・高コレステロール血症などの外来通院治療を基本に、頭痛・めまい・てんかん・手足の痺れ・認知症など、脳や神経に関することを専門に診る『あをによしリハビリ脳神経外科クリニック』。脳卒中やパーキンソン病、脊髄・脊椎疾患およびその術後の後遺症に対するリハビリテーションにも力を入れる。本日はタレントのつまみ枝豆氏が同クリニックを訪問し、吉岡院長にお話を伺った。



院長兼理事長

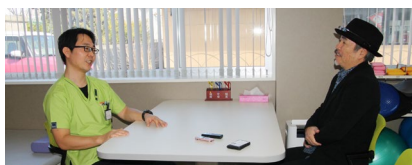
吉岡 正太郎

—『あをによしリハビリ脳神経外科クリニック』さんは令和元年のご開業だそうですね。おめでとうございます。吉岡院長の歩みからお聞かせ下さい。

『関西医科大学』医学部を卒業後、2年間、同大学附属高度救命救急センターや府内の病院に勤務していました。その後、救命救急センターにいた先生が『秋田県立循環器・脳脊髄センター』でお仕事をされていたことがあり、秋田は脳卒中の症例が多いため専門医として経験を積めると紹介して下さい、2005年に秋田に移住しました。途中、2年間ほど『徳島大学』の脳神経外科で経験を積みましたが、『秋田県立循環器・脳脊髄センター』では開業するまで勤務し、2019年1月には第二脳神経外科部長に。そして、11月に当クリニックを開業したのです。

—外科部長をお務めだったのに、どうして開業を決意されたのですか。

長く脳卒中の急性期医療に携わってきた経験から、脳卒中の発症予防や再発予



診察室2室、処置室、点滴室、そして機能訓練室（脳血管疾患等リハII・運動器リハI施設基準を取得したスペース、フローリング床暖房、電気治療器・超音波治療器各種、InBody S10、長・短下肢装具各種など）を設けているほか、レントゲン装置や16スライスマルチCT装置も完備。

## 脳卒中の発症・再発予防から治療、 そしてリハビリまでを専門医として支える

防の重要性を強く感じるようになり、そのためには、患者さんにとってのかかりつけ医の存在が重要ですが現実には少なく、専門的な脳卒中外来リハビリを提供できる医療機関も限られていたことに危機感を感じていました。

—リハビリの場がない、というのは？

今の日本の保険医療制度では、脳卒中の発症から180日を経過すると、リハビリを受けることができなくなり、その後は介護保険に切り替わるんです。半年間のリハビリでは、とても時間が足りませんし、続けられなくなるのに途中でやめざるをえないという状況は良くありません。それで、自費による脳卒中リハビリ（外来リハビリテーション）を提供しようと考えました。

—脳神経外科で自費リハビリも掲げているケースは少ないのでしょうか。

はい。当クリニックでは介護保険を用いたリハビリと併用できますし、回数や時間の制限もありません。リハビリテーションの経験豊富な理学療法士、作業療法士、そして脳神経外科専門医が患者様に適したリハビリプランをご提案し、完全オーダーメイドの自費リハビリをマンツーマンで行います。脳卒中や脊髄脊椎疾患の後遺症で日常生活に制限があると

いう方、手術を受けたがまだうまく手足が動かないという方、専門的リハビリをご希望の方など、お気軽にご相談いただければと思います。

—法整備の不充分さをカバーする素晴らしい取り組みです。これからという時ですが、抱負をお聞かせ下さい。

地域の患者さんに最適な診療とリハビリを提供し、「何でも言えて、何でも聞けるクリニック」を目指します。かかりつけ医として、気軽に頼って下さい！

(2020年3月取材)



「吉岡院長の故郷は奈良。『あをによし（青丹）よし』とは奈良にかかる枕詞で、青丹の産地が奈良だったことが由来だそうです。故郷への思いも大切にされているんですね」



interviewer  
つまみ枝豆